

2022年6月13日

放射線治療実施医療機関
施設長様

厚生労働省科学研究費助成事業
「放射線療法の提供体制構築に資する研究」
研究代表者 山梨大学 大西洋
研究分担者 京都医療科学大学 霜村康平
国立がんセンター中央病院 岡本裕之

厚生労働省科学研究費助成事業「放射線療法の提供体制構築に資する研究」

物理技術系調査研究に関するご協力依頼について

謹啓

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご厚情を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、この度、2021年度厚生労働省科学研究助成事業「放射線療法の提供体制構築に資する研究」において、日本放射線腫瘍学会が中心となり放射線治療関連団体と連携し研究活動を実施しております。本研究班は、放射線治療（X線治療、強度変調放射線治療、定位放射線治療、小線源治療、粒子線治療、ホウ素中性子捕捉療法、緩和放射線治療）のみならず、核医学治療、画像下治療（IVR）、放射線治療看護等も対象としており、放射線治療以外の関連団体を代表する研究者にもご参画頂いております。物理技術関連団体として、日本医学物理士会より岡本裕之、日本診療放射線技師会より霜村康平が研究分担者として加わって活動しております。

本研究における放射線治療物理技術系研究の目的は、本邦において、「安心安全かつ良質な放射線治療を提供するために必要な物理技術専門職（診療放射線技師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士、放射線治療品質管理士等）の適正人員数とその配置」及び「機器の精度管理や照射計画に携わる専門職の人材育成」について提言することです。本研究班では、本邦の放射線治療に携わる物理技術専門職の現状を把握するために、全国放射線治療実施施設及び放射線治療に携わる物理技術専門職者を対象とした大規模アンケートを2022年6月より実施する運びとなりました。

つきましては、全国放射線治療実施施設及び放射線治療に携わる物理技術専門職を対象としたアンケート調査のご協力をお願い申し上げます。貴施設放射線治療責任者様、放射線治療品質管理実務担当者様および放射線治療担当物理技術専門職の皆様へ本アンケートにご協力頂きますようご案内のほどよろしく願いいたします。

末筆でございますが、感染対策等、まだまだ厳しい状況とは存じますが、今後の益々のご繁栄を心より祈念いたします。

謹白

アンケート回答方法

以下のURLもしくはQRコードよりアンケート特設サイトにアクセス頂き
ご回答のほどよろしく願いいたします。

<https://sites.google.com/onishi-rtmp.org/questionnaire>



アンケート回答期限

2022年7月31日（日）

研究目的

近年放射線療法は高度化が進み、コンピュータ制御による強度変調放射線治療、定位放射線治療等が発展普及し、さらに陽子線治療、重粒子線治療も保険収載され高度な放射線治療を受けることが可能となりました。また昨年ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）も保険収載されるようになり、ますます高度の専門性が求められ、物理技術専門職（診療放射線技師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士、放射線治療品質管理士等）の人材育成と適正配置が必要となってきました。しかし2017年第3期がん対策推進基本計画では「標準的な放射線療法の提供体制の均てん化、高度な放射線療法の都道府県を越えた連携体制や医学物理士等の必要な人材のあり方」を取り組むべき課題としていますが、実際には本課題は十分に進んでおらず、強度変調放射線治療実施施設は伸びていないことが大きな問題となっています。また、粒子線治療や小線源治療、ホウ素中性子捕捉療法などの特殊な治療については均てん化は現実的に難しく集約化を目指すことが求められているものの、その地域偏在性と需要との適切なバランスを推定するデータが存在せず、患者数、受療状況、待機状況、対応している人材等の現状把握が必要となっています。

そこで令和3年度厚生労働省科学研究助成事業「放射線療法の提供体制構築に資する研究」研究代表者大西 洋（以下、厚労科研）が発足し、放射線治療の均てん化、集約化、治療提供体制の地域偏在性、職種遍在性などを討議し、物理技術職の業務量の実態調査、各業務内容の能力調査を図ることとなりました。

研究方法

全国放射線治療実施施設及び放射線治療に携わる物理技術専門職を対象に2つのアンケート調査を実施いたします。1つは施設アンケートで、回答者は各放射線治療実施医療機関の放射線治療部門の物理技術専門職の実務責任者となります。2つ目は、個人アンケートで、回答者は、放射線治療に従事する物理技術専門職（診療放射線技師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士、放射線治療品質管理士等）です。2つ目の個人アンケートについては無記名での回答となります。本研究は、国立がん研究センター中央病院倫理審査委員会にて承認されています（承認番号：2021-476、研究責任者 国立がん研究センター中央病院 放射線治療科長 井垣浩）。

● 施設アンケート

回答者：各放射線治療実施医療機関の放射線治療部門の物理技術専門職の実務責任者

調査項目：各職種の人数、各種治療件数、装置数、品質管理体制、雇用状況、各業務の業務割合など

● 個人アンケート（無記名での回答）

回答者：放射線治療に従事する物理技術専門職

（診療放射線技師、放射線治療専門放射線技師、医学物理士、放射線治療品質管理士等）

調査項目：年齢、放射線治療経験、雇用形態、資格保有、各種業務割合、各業務のスキルなど

本アンケート調査から期待される成果

- ・ 通常の放射線治療および高精度放射線治療を行う上での適正な人的配置
- ・ 各職種の業務内容の整理
- ・ 医師のタスクシフト・シェア
- ・ 放射線治療の提供体制について関連学会と連携し新たな施策の提案

研究協力団体（五十音順）

- ・ 医学物理士認定機構
- ・ 日本医学物理学会
- ・ 日本医学物理士会
- ・ 日本放射線腫瘍学会
- ・ 日本診療放射線技師会

- ・ 日本放射線技術学会
- ・ 日本放射線治療専門放射線技師認定機構
- ・ 放射線治療品質管理機構

個人情報等の取り扱いについて

施設アンケートを除き無記名でアンケートに協力していただきます。アンケート回収結果については、研究責任者が管理し、容易に個人を特定できないようにします。承認に係わる研究対象者の個人情報は、内部監査を除いて第三者へは提供しません。研究責任者は Google workspace（注釈 1）を用いてセキュリティが確保されたアカウントでアンケートを作成して、データの管理を行います。ログインについては、研究責任者が管理するパスワードを設定し、情報の漏洩に対する安全対策を講じます。また、研究結果の報告、発表に関しては個人が特定される形では公表しません。

注釈 1：第三者機関からのセキュリティに関する認証を受けた有料の Google アカウントで、以下の第三者機関より認証を受けています。

- ・ ISO2700 は広く認識され受け入れられている独立したセキュリティ規格
- ・ ISO27017 はクラウドサービスを対象として、ISO/IEC27002 に基づく情報セキュリティ管理の方法を規定した国際規格
- ・ ISO27018 はデータの保護に関する国際的な基準。Google Workspace 内にあるデータについて、データの所有者がお客様であること、データ削除と書き出しを行えるツールをお客様に提供すること、第三者から開示要請があった場合にお客様の情報を保護すること、お客様のデータの保管場所について透明性を確保することなどが含まれています。

インフォームド・コンセントに関する手続き

本研究は、要配慮個人情報（氏名、メールアドレス、各業務の能力調査）を取得して研究を実施するため、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づき、研究対象者から適切な同意を受けます。具体的には、研究の概要を説明した研究概要（本書）をアンケートに掲載し、各アンケートに同意に関するチェックボックス（記入欄）を設け、記入がされたことをもって適切な同意が取得されたものとします。

本件に関する問い合わせ先

本件に関する問い合わせは以下の連絡先にご連絡ください。

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

研究事務局：岡本裕之

問い合わせフォーム：<https://forms.gle/GdPqFiCGZWrZFQDX7>